

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	10月19日(木) ～20日(金)	第14回海岸工学講演会	横 浜 市	9号2ページ参照
	10月25日(水) ～26日(木)	第9回地震工学研究発表会	土 木 学 会	9号4 〃
	11月21日(火) ～22日(水)	第2回土木計画学シンポジウム	東 京	9号7 〃
	11月21日(火) ～22日(水)	秋のエキスカーション	静 岡 県	9号3 〃
北海道支部	9月8日(金) 9月22日(金) 10月6日(金) 10月20日(金)	} 秋季見学会 講 演 会	北 海 道	9号8 〃
	9月21日(木)		旭 川 市	9号8 〃
東 北 支 部	11月10日(金)	支部設立30周年記念式典および記念講演会	仙 台 市	9号8 〃
関 東 支 部	10月12日(木) ～13日(金)	建造物の基礎に関する講習会	東 京	9号9 〃
	10月14日(土)	中央高速道路見学会	神奈川県外	9号9 〃
	10月17日(火) ～18日(水)	新しい測定技術講習会	日本化学会	9号9 〃
	10月24日(火)	京浜地区工事見学会	神 奈 川 県	9号10 〃
	11月7日(火) ～8日(水)	近代的管理手法の活用講習会	東 京	9号10 〃
中 部 支 部	9月22日(金)	名四国道工事見学会	名 古 屋 市	8号11 〃
	9月29日(金)	コンクリート標準示方書改訂にともなう講習会	同	8号10 〃
	10月7日(土)	地盤調査の実務に関する講習会	名 古 屋 市	9号12 〃
	10月13日(金)	講 演 会	岐 阜 市	9号11 〃
	10月17日(火)	軟弱地盤における工事実施例講習会	名 古 屋 市	9号11 〃
関 西 支 部	10月27日(金)	第3回見学会	福 井 県 外	9号12 〃
	10月21日(土) 10月28日(土)	} 第1回学生見学会	京 都 府	9号13 〃
中国四国支部	10月6日(金)	映 画 会	広 島 市	9号13 〃
	10月12日(土)	同	松 江 市	9号13 〃
そ の 他	10月19日(木) ～20日(金)	第17回応用力学連合講演会	東 京	7号5 〃
	10月23日(月) ～24日(火)	第4回災害科学総合シンポジウム	仙 台 市	7号6 〃
	11月28日(火) ～29日(水)	第2回岩の力学国内シンポジウム	東 京	9号5 〃
	11月29日(火)	第8回構造の軽量化に関するシンポジウム	同	7号4 〃
	12月1日(金)	薄板構造および立体構造に関する研究発表会	同	7号9 〃
お知らせ	■第13回国際道路会議			9号6 〃
	■第12回水理講演会講演募集			9号9 〃

第 14 回海岸工学講演会

◀ 10 月 19 日 (木) ~ 20 日 (金) ▶

第 14 回海岸工学講演会はつぎの日程により横浜市において開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、講演集は B5 判活版印刷で目下編集中です。

1. 場 所：神奈川県農業会館（横浜市磯子区西町 14 町 11 号・電 横浜 761—3241）国鉄根岸駅下車徒歩 3 分

2. 講 演 会：1967 年 10 月 19 日 (木) ~ 20 日 (金)

3. 講 演 題 目：

- 第 1 日・10 月 19 日 (木) 午前
- 印は講演者
- | | | |
|-------------------|----------------------------|----------------------|
| 9.00 ~ 9.05 | 開会あいさつ | 土木学会海岸工学委員会委員長 本 間 仁 |
| 9.05 ~ 9.20 (1) | 有浪振幅波の Shoaling について | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・○酒井哲郎 |
| 9.20 ~ 9.35 (2) | Stokes 波とクノイド波の適用限界について | 京都大学防災研究所 ○岩垣雄一・山口正隆 |
| 9.35 ~ 9.50 (3) | ラグランジュ風に解いた粘性流体の波動解 | 中央大学 首 藤 伸 夫 |
| 9.50 ~ 10.05 (4) | 波浪の予測フィルター・変換フィルターについて (1) | 東京工業大学 日 野 幹 雄 |
| 10.05 ~ 10.25 | 討 議 (1) ~ (4) | |
| 10.25 ~ 10.35 | 休 憩 | |
| 10.35 ~ 10.50 (5) | 数値計算による台風域内の波の分布の推定法について | 九州大学 ○井島武士・松尾幹彦・副島 毅 |
| 10.50 ~ 11.05 (6) | 波と風の相互作用に関する研究 (II) | 九州大学応用力学研究所 光 易 恒 |
| 11.05 ~ 11.20 (7) | 粗な斜面からの反射に関する実験的研究 | 大阪大学 室 田 明 |
| 11.20 ~ 11.35 (8) | 実験波の不規則性 | 農林省農業土木試験所 前 田 清 康 |
| 11.35 ~ 11.55 | 討 議 (5) ~ (8) | |
| 11.55 ~ 13.30 | 昼食・休憩 | |
- 10 日 19 日 (木) 午後
- | | | |
|--------------------|---------------------------------|---|
| 13.30 ~ 13.45 (9) | 海岸構造物不連続部の波高分布について (第 2 報) | 徳島大学 三 井 宏・○村上仁士 |
| 13.45 ~ 14.00 (10) | 日本海沿岸の波についてレーダー観測による金沢海岸の波向について | 運輸省第 1 港建 板尾純一・九州大学 井島武士・○松尾幹彦・副島 毅 |
| 14.00 ~ 14.15 (11) | 小名浜港の風波について | 運輸省第 2 港建 ○内田則夫・斎藤幸義
KK トウショウウェアサービスセンター 東条定義・進藤 勉 |
| 14.15 ~ 14.30 (12) | 湘南海岸における風と波浪について | 神奈川県企業庁総合開発局 広 田 純 也 |
| 14.30 ~ 14.45 (13) | 水位と波高の重ね合わせに関する統計的研究 | 日本大学 久宝雅史・○竹沢三雄・天野智雄 |
| 14.45 ~ 15.10 | 討 議 (9) ~ (13) | |
| 15.10 ~ 15.20 | 休 憩 | |
| 15.30 ~ 16.00 | 〔特別講演〕東京湾の港湾について | 運輸省第 2 港湾建設局長 寺 西 弘 治 |
| 16.00 ~ 16.30 | 映画「題目未定」 | |
- 第 2 日・10 月 20 日 (金) 午前 第 1 会場
- | | | |
|--------------------|----------------------------------|---------------------------|
| 9.00 ~ 9.15 (14) | 底面及び側壁が直線的に変化する湾における長波の波高変化 | 神戸大学 杉本修一・国立明石工専 ○西村益夫 |
| 9.15 ~ 9.30 (15) | 枝分れのある湾の振動特性について | 東京大学 堀川清司・○西村仁嗣 |
| 9.30 ~ 9.45 (16) | 大阪市内河川の高潮遡上に関する実験 | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・○中村重久 |
| 9.45 ~ 10.00 (17) | 長波研究用造波装置の特性について | 東北大学 岩崎敏夫・梶 沢 民 |
| 10.00 ~ 10.20 | 討 議 (14) ~ (17) | |
| 10.20 ~ 10.30 | 休 憩 | |
| 10.30 ~ 10.45 (18) | 海岸堤防の越波に関する基礎的研究 (1) | 東京工業大学 吉川秀夫・椎貝博美・○河野二夫 |
| 10.45 ~ 11.00 (19) | 海岸護岸の越波に関する一実験 | 東北大学 岩崎敏夫・○沼田 淳 |
| 11.00 ~ 11.15 (20) | 不透透壁面の線形および透過斜面の空隙が越波量に及ぼす影響について | 中部工業大学 高 田 彰 |
| 11.15 ~ 11.30 (21) | 円弧型防潮水門に作用する波圧に関する実験 | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・○井上雅夫・吉川昌宏 |
| 11.30 ~ 11.50 | 討 議 (18) ~ (21) | |
| 11.50 ~ 13.00 | 昼食・休憩 | |
- 10 月 20 日 (金) 午後 第 1 会場
- | | | |
|--------------------|---------------------------------|--|
| 13.00 ~ 13.15 (22) | 栈橋に働く揚圧力に関する実験 | 東京大学 堀川清司・○中尾忠彦・矢島昭弘 |
| 13.15 ~ 13.30 (23) | 波浪中の浮体の動揺による支持柱に働く衝撃圧に関する研究 | 大阪市立大学 ○永井荘七郎・小田一紀・日立造船KK 重藤宗之 |
| 13.30 ~ 13.45 (24) | 海岸堤防におけるアスファルト系被覆工に対する波力の影響について | 北海道大学 ○尾崎 晃・菅原照雄・刈谷広見 |
| 13.45 ~ 14.00 (25) | 透過式消波堤に関する研究 | 農林省 佐藤稔夫・○三橋宏次・秦 英樹 |
| 14.00 ~ 14.20 | 討 議 (22) ~ (25) | |
| 14.20 ~ 14.30 | 休 憩 | |
| 14.30 ~ 14.45 (26) | 透過性鋼管防波堤と底質の移動について | 中央大学 ○林 泰造・大成建設KK 狩野徳太郎・白井増次郎・中央大学 服部昌太郎 |
| 14.45 ~ 15.00 (27) | 瀬上津波に対する防浪陸堤の効果に関する研究 (第 2 報) | 東北大学 岩崎敏夫・○富樫宏由 |
| 15.00 ~ 15.15 (28) | 深い水深における消波堤に関する研究 | 大阪市立大学 永井荘七郎・○大坪崇彦・遠藤正男 |
| 15.15 ~ 15.30 (29) | 消波ブロックの水理的特性 | 建設省土木研究所 富永正照・中央大学 首藤伸夫・建設省土木研究所 ○橋本 宏 |
| 15.30 ~ 15.45 (30) | 消波法覆ブロックに関する実験的考察 | 日本大学 久宝雅史・技研興業KK 多賀一允・日本大学 ○遠藤茂勝・大橋一彦 |
| 15.45 ~ 16.10 | 討 議 (26) ~ (30) | |
| 16.10 ~ 16.29 | 休 憩 | |

- 16.20~16.35 (31) 海岸保全計画の手法について 運輸省港湾局 ○堀口孝男・奥山文雄・藤森研一
 16.35~16.50 (32) 台風 26 号による吉原海岸の災害について 建設省土木研究所 ○富永正照・橋本 宏・中村 隆
 16.50~17.00 討 議 (31)~(32)
 17.00~17.05 閉 会 あ い さ つ 本 間 仁
- 第 2 日・10 月 20 日 (金) 午前 第 2 会場
- 9.00~ 9.15 (33) 密度流の問題(2)—古典的理論の検討— 運輸省港湾技術研究所 浜 田 徳 一
 9.15~ 9.30 (34) 河口密度流の解析 北海道大学 ○柏村正和・吉田静男
 9.30~ 9.45 (35) 海面に噴出する油の非定常拡散 O.M.B. Abbott, 中央大学 林 泰造
 9.45~10.00 (36) 淡水境界面における乱流拡散の一実験 東北大学 岩崎敏夫・○阿部至雄
 10.00~10.20 討 議 (33)~(36)
 10.20~10.30 休 憩
 10.30~10.45 (37) 石狩川河口の研究(4) 北海道大学 福島久雄・八坂 功・高橋 将・柏村正和
 10.45~11.00 (38) 二層流の風による混合に関する実験的研究 北海道大学 ○岸 力・加藤正進
 11.00~11.15 (39) 深層取水の流れへの考察(1) 日本原子力発電KK ○大西外明・東京工業大学 日野幹雄
 11.15~11.30 (40) 冷却水深層取水工の設計に関する二、三の問題 電力中央研究所 千 秋 信 一
 11.30~11.50 討 議 (37)~(40)
 11.50~13.00 昼食・休憩
- 10 月 20 日 (金) 午後 第 2 会場
- 13.00~13.15 (41) 入江内における冷却水取水の研究(3) 電力中央研究所 ○和田 明・片野尚明
 13.15~13.30 (42) 東京湾における汚染について 東京都立大学 半谷高久・運輸省第 2 港建 ○御座清泰・惣谷 実
 13.30~13.45 (43) 下新川海岸における海底勾配と漂砂 建設省北陸地建 中 川 健三郎
 13.45~14.00 (44) 高知海岸の漂砂について 高知大学 上 森 千 秋
 14.00~14.20 討 議 (41)~(44)
 14.20~14.30 休 憩
 14.30~14.45 (45) 有明海浮泥の渦面変化への影響について 農林省農業土木試験場 満 田 雅 男
 14.45~15.00 (46) 東京湾湾口(富津崎)における漂砂について 運輸省第 2 港建 ○石上鎮重・中橋 新・東京大学海洋研究所 奈須紀幸
 15.00~15.15 (47) 天然放射能による漂砂源と方向の推定について 運輸省港湾技術研究所 佐藤昭二・○入江 功
 15.15~15.30 (48) 波による底質の浮遊 京都大学防災研究所 野 田 英 明
 15.30~15.50 討 議 (45)~(48)
 15.50~16.00 休 憩
 16.00~16.15 (49) 航空写真を用いての海岸の後退に関する研究 東京大学 堀川清司・○砂村健夫
 16.15~16.30 (50) 堤防設置による海浜変形について 名古屋工業大学 細 井 正 延
 16.30~16.45 (51) 海岸堤防基部の洗掘機構に関する研究 大阪大学 榎 木 亨
 16.45~17.00 討 議 (49)~(51)

4. 見 学 会 : 1967 年 10 月 21 日 (土) 9.00~17.00

- (1) コース: 横浜駅東口集合 (9.00)—横浜港(本牧埠頭)—根岸湾(日本石油根岸 精油所・石川島播磨造船所)—江ノ島(湘南港)—横浜駅東口解散 (17.00)
 (2) 参加費: 500 円 (バス代および昼食代)
 (3) 申込先: 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会海岸工学講演会係 (参加者多数の場合は申込受付順といたします)

東名高速道路見学会—秋のエキスカカーション— ◀ 11 月 21 日 (火)~22 日 (水) ▶

関東支部と共催で、秋のエキスカカーションとして、工事最高潮の東名高速道路の見学を行ないます。絶好の機会ですから、ふるってご参加下さい。

1. 定 員: 50 名
2. 参 加 費: 4000 円 (日程内の一切を含む)
3. 日 程: 11 月 21 日 (火) 8.30 土木学会集合—多摩川橋—厚木インターチェンジ—酒匂川橋梁—富士川サービスエリア—三保の松原(三保園ホテル) 宿泊
 11 月 22 日 (水) 三保の松原—日本平—日本坂トンネル—袋井工区—浜名湖大橋—新幹線浜松駅前解散 16.40
4. 申 込 み: 11 月 10 日 (金) までに参加費を添えて、土木学会総務課までお申込み下さい。

工業高校土木科教諭を対称とした夏期講習会テキスト頒布

去る 8 月 2~4 日東京にて開催した標記講習会に使用したテキストの残部がありますので希望の方は土木学会編集課までお申込み下さい。

- 山 本 稔: 平面光弾性実験の理論と実験
 堀井健一郎: 抵抗線ひずみ計によるひずみ計測の原理と実際 } 実費: 300 円 (〒共)

第9回地震工学研究発表会

◀ 10月25日(水)～26日(木) ▶

標記研究発表会を下記により開催いたしますからご参加下さいませようご案内申し上げます。なお、今回は下記テーマによりパネル討論を行ないますのでふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年10月25日(水)、26日(木)の2日間

2. 会 場：土木学会図書館講堂

3. プログラム：

第1日・10月25日(水)

- 9.30～9.35 開会あいさつ 土木学会耐震工学委員会委員長 那 須 信 治
- 9.35～10.00 (1) 松代地震における一、二の地盤震動観測結果 電力中央研究所 ○高橋 忠・堤 一・桜井彰雄
- 10.00～10.25 (2) 落合橋における松代地震の強震観測結果 建設省土木研究所 栗林栄一・○岩崎敏男
- 10.25～10.50 (3) 地中の地震観測について一信越本線筑摩川橋りょう付近一 国鉄鉄道技術研究所 藤 原 俊 郎
- 10.50～11.15 (4) ラーメン架道橋の壁面に作用する地震時土圧の観測 国鉄構造物設計事務所 田村浩一・日本鉄道建設公団 ○清水影明
- 11.15～11.25 休 憩
- 11.25～12.15 [特別講演] 地震地帯におけるダム建設について 東京大学教授 岡 本 舜 三
- 12.15～13.15 昼 食
- 13.15～13.35 (5) 地盤変形を考慮に入れた鋼管橋脚の地震応答計算図表 九州大学 小坪清真・○高西照彦
- 13.35～13.55 (6) 斜組杭の地震時応力について 九州大学 小坪清真・○荒牧軍治
- 13.55～14.15 (7) 松代地震における鋼管杭の地震応答観測結果 電力中央研究所○ 江刺靖行・高橋 忠・堤 一・中部電力 松野久吉・長谷川幸雄
- 14.15～14.35 (8) 松代地震による地中電線路埋設鋼管の地震応答観測結果 東京電力KK 野口俊郎・○岩崎 透・電力中央研究所 高橋 忠・桜井彰雄
- 14.35～14.55 (9) 松代地震による上の歪観測結果と地中埋設パイプラインの地震時の歪の推定 電力中央研究所 ○桜井彰雄・高橋 忠
- 14.55～15.15 (10) 松代地震による地中電線路埋設コンクリート管の地震応答観測結果 電力中央研究所 ○松井家孝・高橋 忠・中部電力KK 松野久吉・長谷川幸雄
- 15.15～15.35 (11) 発破地動による地中壁体の振動実験 東京工業大学 ○伯野元彦・鹿島建設KK 野尻陽一
- 15.35～15.55 (12) 軟弱地盤内における管道の動的挙動 東京大学 岡本舜三・○田村重四郎・加藤勝行・森地重暉
- 15.55～16.15 (13) 斜組ぐい鋼管橋脚を有する道路橋の振動性状について 神戸大学 畑 中 元 弘
- 16.15～16.25 休 憩
- 16.25～17.25 [パネル討論] 地下構造物の地震応答

第2日・10月26日(木)

- 9.30～9.55 (14) 架け違い箇所を有する連続曲線橋の動的解析について 東京大学 久保慶三郎・日本道路公団 笹戸松二・○武藤準彦
- 9.55～10.20 (15) ディヴィダーク橋の地震応答に及ぼす地動位相差の影響 九州大学 小坪清真・○原田謙二
- 10.20～10.45 (16) 動的な水平地盤反力に関する理論的ならびに実験的考察 九州大学 小坪清真・○花田和史
- 10.45～11.10 (17) 剛体の震動特性に関する一、二の考察 東京電力KK 小野 章・電力中央研究所 ○堤 一
- 11.10～11.20 休 憩
- 11.20～12.10 [特別講演] 松代地震の経過と背景一映画・地震予知への道一 東京大学教授 笠 原 慶 一
- 12.10～13.10 昼 食
- 13.10～13.35 (18) 耐震設計用の地震波形に関する一考察 東京大学 金 井 清
- 13.35～14.00 (19) 将来の最大地震動の推定法について 京都大学 後藤尚男・○亀田弘行
- 14.00～14.25 (20) 地震動のシミュレーションとその応用 京都大学 後藤尚男・○土岐憲三
- 14.25～14.50 (21) 波動による地盤特性の一解析 電力中央研究所 堤 一・○佐藤孝雄・桜井彰雄
- 14.50～15.15 (22) ケーソン基礎の浮上り振動について 大阪市立大学 倉田宗章・大阪工業大学 岡村宏一・建設省近畿地方建設局○多田浩彦

- 15.15～15.25 休 憩
- 15.25～15.50 (23) 飽和砂層の振動性状 運輸省港湾技術研究所 荒井秀夫・○梅原端文
- 15.50～16.15 (24) 軟弱地盤の振動性状について(第3報) 東北大学 河上房義・浅田秋江
- 16.15～16.40 (25) 盛土と斜面の震害について 国鉄鉄道技術研究所 小林 芳 正
- 16.40～17.05 (26) 地震による貯水の運動について 国鉄鉄道技術研究所 生 方 俊 夫
- 17.05～17.30 (27) 高周波強震計の試作 建設省土木研究所 大久保忠良・明石製作所 ○後藤健一
- 17.30～17.35 閉 会 あ い さ つ 那 須 信 治

[注] 第1日(10月25日)の午後以外の講演には5分の討議時間が含まれております。また、プログラムは都合により変更されることがありますのでご了承下さい。

4. 講演概要：B5判、オフセット印刷約120ページ、実費頒布(定価未定)

5. 懇 親 会：第1日(10月25日)の発表会終了後下記により懇親会を開催いたしますので、ご希望の方は当日会場受付にお申込下さい。

日 時：10月25日(水)18.00から

会 場：土木学会会議室

会 費：500円(当日受付可)

第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)参加募集

岩の力学国内シンポジウムは、1964年に第1回を開催し、所期の成果をあげることができましたが、前回に引続き第2回シンポジウムを下記により開催し、国内の岩盤力学研究者、技術者の研鑽と交流および研究情報交換とあわせて相互の親睦をはかることになりました。

つきましては、会員各位には下記要領により、ふるってご参加下さいませようご案内いたします。

共催：土質工学会・日本鉱業会・日本材料学会・土木学会

1. 期 日：1967年11月28日(火)、29日(水)の2日間
 2. 会 場：大和証券ホール(東京都千代田区大手町2の8 大和証券ビル8階)
 国電東京駅八重洲北口下車徒歩3分、都電丸根橋停留所前

3. 定 員：350名

4. 参 会 費：2000円(講演集代を含む)

5. プログラム：

第1日・11月28日(火)

注：Aは課題論文、Bは自由論文、○印は講演者です。

- 9.15～9.25 開会あいさつ 第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)運営委員会委員長 岡本舜三
 9.25～9.50 A-1 泥岩の現位置試験に関する現地比較実験 国鉄鉄道技術研究所 室町忠彦
 9.50～10.15 A-2 軟岩の岩層と層位と地盤強度との関係について 建設省土木研究所 芥川真知
 10.15～10.40 A-3 炭層および上下盤岩石の現場の強度測定法 石炭技術研究所 三吉一・藤原吉郎
 10.40～11.05 A-4 グム地点の地質分類と岩盤強度試験 建設省土木研究所 飯田隆一・岡本隆一
 11.05～11.20 B-1 ジュミットテストハンマーによる岩塊の反ばり度測定 熊本大学工学部 ○井上正康・大見美智人
 11.20～11.35 B-2 川の岩量・岩質・破壊度の追求に対する地震探査法の適用 鹿島建設KK 渋谷長美・市川南・田村計・○雑喉謙・岡林信行
- 11.35～12.00 討 議 (A-1～B-2)
 12.00～13.00 昼 食
 13.00～13.35 第1回国際岩盤力学学会議報告 電力中央研究所 林正夫
 13.35～13.50 B-3 岩石強度の確率論理的考察 東京大学工学部 西松裕一
 13.50～14.05 B-4 ひずみに立脚した脆性体の破壊論 電力中央研究所 畑野正
 14.05～14.20 B-5 三軸実験による岩石破壊の進行について 東京大学工学部 小出仁・工業技術院地質調査所 野野一
 14.20～14.35 B-6 静荷重下における岩石の破壊条件 神戸大学工学部 桜井春輔
 14.35～14.50 B-7 亀裂を含む岩盤の力学的性質とその動きについて 九州工業高等学校 玉田文吾
 14.50～15.05 討 議 (B-3～B-7)
 15.05～15.20 B-8 地下発電所用空洞の開削に伴う岩盤内緩み領域の逐次的発達解析法 電力中央研究所 林正夫・日比野敏
 15.20～15.35 B-9 非線型変形現象を考慮した岩盤の応力、変形および耐荷力の解析 電力中央研究所 林正夫
 15.35～15.50 B-10 有限要素法による岩盤力学問題の一計算例 東京大学工学部 鈴木光・石島洋二
 15.50～16.05 B-11 岩盤斜面の変形と応力状態について 名古屋大学工学部 川本誠万・藤田益夫
 16.05～16.20 討 議 (B-8～B-11)
 16.20～16.35 B-12 岩盤地帯における地震観測 東京大学生産技術研究所 岡本舜三・○田村重四郎・加藤勝行・藤原長司・東京電力KK 水越達雄

- 16.35～16.50 B-13 高速ウォーターゼットによる岩石の破壊について 工業技術院資源技術試験所 花田健一・山門憲雄
 16.50～17.05 討 議 (B-12～B-13)

第2日・11月29日(水)

- 9.00～9.25 A-5 スムースブラッシングにおける破壊機構の一考察 京都大学工学部 伊藤一郎・佐々宏一
 9.25～9.50 A-6 スムースブラッシングによる岩盤の破壊とゆるみ 東京大学工学部 山口梅太郎
 9.50～10.15 A-7 発破による岩盤のゆるみ 電力中央研究所 鍋岡昭三
 10.15～10.30 B-14 坑道発破の段発爆破と爆破振動について 鹿島建設KK 梅田貞夫
 10.30～10.45 B-15 大孔径ベンチカットにおける爆破時の振動について 鹿島建設KK 梅田貞夫・松井正州・江本哲也・井保武寿
 10.45～11.00 B-16 坑道発破の完爆確認について 京都大学工学部 吉住永三郎・若園吉一・京都大学防災研究所 吉川宗治・鹿島建設KK 佐藤忠五郎・梅田貞夫
 11.00～11.15 B-17 爆破による岩盤変動の電氣的測定 京都大学工学部 吉住永三郎・入江恒爾・鹿島建設KK 佐藤忠五郎
 11.15～11.30 B-18 発破による地盤および建物の振動 神戸大学工学部 畑中元弘
 11.30～12.00 討 議 (A-5～B-18)
 12.00～13.00 昼 食
 13.00～13.25 A-8 応用測定による採掘の管理 京都大学工学部 平松良雄・岡行俊
 13.25～13.50 A-9 土丹および第三紀層軟岩の調査および設計への結びつき 建設省土木研究所 吉田巖
 13.50～14.15 A-10 ディスクカッターによる岩石の破砕について 工業技術院資源技術試験所 高岡三郎・速水博秀
 14.15～14.40 A-11 奈川渡グムの断層処理工事について 東京電力KK 藤井敏夫
 14.40～15.00 討 議 (A-8～A-11)
 15.00～15.25 A-12 喜撰山地下発電所における測定について 関西電力KK 吉田登
 15.25～15.50 A-13 地下における採掘が周辺の地下空洞におよぼす地圧と変形について 熊本大学工学部 兼重修
 15.50～16.15 A-14 ウォールマイヤートンネルボーリングマシンによる青函トンネルの掘削(仮題) 日本鉄道建設公団 柏谷逸男
 16.15～16.35 討 議 (A-12～A-14)
 16.35～16.40 閉会あいさつ 日本材料学会岩石力学部門委員会委員長 飯田収事

6. 参加申込要領:

- (1) 申込期限: 10月31日
- (2) 大きさ: B5以下適宜用紙に「第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)参加申込」と必ず明記し, 参加者氏名, 勤務先, 連絡先, 所属学会を記載し, 参加費(現金または為替)をそえて, 土木学会(幹事学会)にお申込み下さい。
- (3) 申込先: 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内 岩の力学シンポジウム係
- (4) お申込み入金のある次第, 参加券および講演集引換券をお送りいたします。なお, 原則として参加申込みの取消しがあっても参加費の払いもどしはいたしませんのでご了承下さい。
- (5) 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますからなるべく早目にお申込み下さい。

7. 懇親会: 会期中下記により懇親会を開催いたしますから, 参加ご希望の方は, 会費を添えてシンポジウム参加申込みと同時に申込み下さい。ただし, 申込み順に受付満員になり次第締切ります。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| (1) 日 時: 11月28日(火) 18.00~20.00 | (2) 会 場: 土木学会会議室 |
| (3) 会 費: 1000円 | (4) 定 員: 50名 |

第12回水理講演会講演募集

第12回水理講演会を下記により開催いたします。今回の課題は下記の通りですが, 講演ご希望の方はふるってご応募下さいますようお願い申し上げます。(なお, 1969年度のI.A.H.R(国際水理学会)について提出される予定の日本案は(A) Simulation Technics in Water Resources Engineering, (B) Multi-phase Flows, (C) Estuary Hydrodynamics, (D) River Geomorphologyの4つです)

1. 期 日: 1968年2月9日(金)~10日(土)
2. 会 場: 発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17番地, 地下鉄虎ノ門下車徒歩3分)
3. 課 題: 1. 河口の水理現象
 - i) 河口における熱およびその他の物質の拡散
 - ii) 成層密度流
 - iii) 水流を伴う波の問題2. 河口形態論
 - i) 長期にわたる河川の変形
 - ii) 流れと水路間の力学的相互作用(移動床を含む)3. その他
4. 申込み方法その他: 10月30日までに講演題目, 講演者氏名(連名の場合は講演者に○印をつける), 勤務先を明記し, 土木学会水理委員会宛お申し込み下さい。
なお, 講演の採否は水理委員会にご一任下さい。また, 採用決定のうちは改めて講演原稿の提出方をお願いいたします。

5. 講演原稿締切: 12月5日(厳守)

◎ 2月10日の講演終了後, ひきつづいて水文学に関するシンポジウムを行なう予定です。題目についてはおってお知らせいたします。

第14回風に関するシンポジウム講演募集

恒例により標記シンポジウムを下記により開催いたします。講演希望者は下記要領によりふるってご応募下さい。

1. 期 日: 1967年12月8日(金)
2. 会 場: 農業技術研究所講堂(東京都北区西ヶ原2の1, 国電上中里駅下車徒歩5分)
3. 共 催: 日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会(幹事学会)・日本航空学会・日本地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会・土木学会
4. 講演申込期日: 10月9日(月)
5. 申 込 方 法: 10月9日までに題目, 氏名, 勤務先, 連絡先, スライドの有無を明記し, 土木学会または所属学会宛お申込

第2回土木計画学シンポジウム

◀ 11月21日(火)~22日(水) ▶

土木学会土木計画学研究委員会は、本年1月に第1回シンポジウムを開催、多数の参加者を得て非常に好評を得ました。本委員会は、当初から年に2~3回のシンポジウムを開催する予定であり、第1回シンポジウム参加者もまた、さらに何回かのシンポジウムを継続して問題点の追究を深めることを強く要望しています。

ここに、第2回土木計画学シンポジウムを下記要領により開催し、土木計画のあり方と理念について、ともに考えることとしました。

第1回のシンポジウムは全く最初の試みでもあったし、土木計画学の範囲と考えられる分野を、いわば浅く広くとらえようとしていました。したがって、各テーマについては突込みが不十分であったことは否めません。

第2回以後は、徐々に問題点を深く追究したいと考えています。しかし、本委員会としては土木計画に含まれる個々のテーマの追求よりは、むしろ総括的に捉えようとしています。

そこで今回は、水資源計画、交通計画、都市計画、地域計画を例にとり、それぞれに共通すると思われる計画上の基礎概念を、土木計画学としての共通の場で検討しようとしてみました。

第2回シンポジウムにおいては具体的には(1)需要予測と計画目標設定の問題(2)計画決定に際し、目的性を追求するための評価基準の問題を考えてみたいと思います。

会員諸氏が、前回と同様ふるって参加されるようご案内いたします。

本委員会としては、今後も引き続きシンポジウムを続け、また計画学に関連する講習会などを開くことも検討中です。

(1) 期 日: 11月21日(火)、22日(水)の両日

(2) 会 場: 銀座ガスホール(東京都中央区銀座7-1・電話 571-4873)

(3) 参加費: 1500円(会員外 2000円)

(4) 申込方法: 下記用紙に必要事項をご記入のうえ、10月31日(火)までに土木学会事務局編集課宛に添付して現金書留便で申込んで下さい。

(5) 日 程: 11月21日(火)

開会あいさつ	9:30~9:40	土木計画学委員会委員長 鈴木雅次
第I部 水資源計画	9:40~12:00	
		<司会> 東京大学助教授 高橋 裕 水資源開発公団計画部計画課長 佐々木 和彦/建設省河川局河川計画課長補佐 北野 章
第II部 交通計画	13:00~17:00	
		<司会> 北海道大学教授 小川博三 日本国有鉄道監察委員 立花文勝/日本道路公団東京支社工事部長 星野哲三 京都大学教授 長尾 義三/東京大学助教授 新谷 洋二/岐阜大学教授 加藤 晃

11月22日(火)

第III部 都市計画・地域計画	9:30~12:00	
		<司会> 東京大学教授 井上 孝 名古屋大学教授 毛利正光/運輸省港湾局計画課長 竹内良夫/建設省都市局街路課課長補佐 渡部 与四郎
第IV部 土木計画の目的に関する総括討論	13:00~14:30	
		<司会> 東京大学教授 八十島 義之助 東京大学助教授 高橋 裕/北海道大学教授 小川博三/東京大学教授 井上 孝/京都大学教授 米谷 栄二 第V部 総括討論のまとめ
	14:30~14:50	京都大学教授 米谷 栄二
閉会のあいさつ	14:50~15:00	土木計画学研究委員会委員 石原 藤次郎

.....(切 取 線).....

第2回土木計画学シンポジウムに参加するので、参加費を添えて申込みます。

住 所			
氏 名		電 話	勤務先 自宅
役 職 名			
備 考	1. 官費	2. 社費	3. 私費
	1. 会員	2. 会員外	

昭和42年 月 日

土木学会 御 中

北海道支部行事案内 (札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階・電話 札幌 25—7038)

(1) 秋季見学会

1. 函館地区：1. 期 日：9月8日(金)・日帰り 2. 申込締切：9月4日 3. 申込先：函館土木現業所または支部事務局 4. 見学工事：①函館港北浜埠頭鋼管杭(20m)打ち工事 ②川汲長大トンネル1150m工事 ③山背泊漁港防波堤工事
 2. 旭川地区：1. 期 日：9月22日(金)・日帰り 2. 申込締切：9月18日 3. 申込先：旭川開建庶務課または支部事務局 4. 見学工事：①連続立体交差(国鉄)工事 ②旭川大橋下部工事(開建) ③岩尾内ダム工事
 3. 釧路地区：1. 期 日：10月6日(金)・日帰り 2. 申込締切：10月6日 3. 申込先：釧路開建建設部庶務課または支部事務局 4. 見学工事：①釧路港埠頭工事 ②釧路市都市計画工事 ③厚岸港漁港修築工事
 4. 札幌地区：1. 期 日：10月20日(金)・日帰り 2. 申込締切：10月16日 3. 申込先：支部事務局 4. 見学工事：①南1条橋架換工事(下部) ②千才川筋南6号内水排除工事 ③美笛トンネル工事
- 以上各参加料：会員 500円・非会員 700円・学生会員 300円・定員：各 50名・先着申込順締切・乗物：観光バス・雨天決行

(2) 旭川地区講演会

1. 期 日：1967年9月21日(木) 13.00~16.00
2. 会 場：旭川商工会議所3階ホール
3. 講演題目と講師：

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ① 欧米の道路事情について | 開発局道路計画課長 小野 修 |
| ② 岩尾内ダム建設に伴う仮設備機械決定について | 旭川開建岩尾内ダム建設事務所長 児玉 晃 |
| ③ 欧米をめぐりて | 札幌市水道局拡張部長 伊藤 健二 |

(3) 研究発表会 論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会(2月下旬)に発表の論文または報文をつぎの要領で募集いたします。

1. 発 表：北海道支部刊行の「研究発表論文集」第24号に本印刷掲載
2. 内 容：土木技術論文・工事報告文
3. 応募方法：応募者は、発表題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭・電話・郵便でお申込みのこと。ただちに原稿執筆要領・所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切：11月下旬
5. 支部奨励賞：選考のうえすぐれたものには、支部奨励賞として賞金1万円・賞状・メダルを贈り支部総会で表彰する。

東北支部行事案内(仙台市北3番丁124 建設省東北地方建設局企画室内・電話 仙台 25—2171)

支部設立 30 周年記念式典および記念講演会

◀ 11月10日(金) ▶

東北支部は設立 30 周年を迎えましたので、下記のような記念行事を仙台市において行ないます。ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年11月10日(金)
2. 場 所：宮城県民会館6階第2会議室(仙台市定禅寺通橋丁48)
3. 行 事 次 第：
 - ① 記念式典 10.30~12.00 支部長式辞/来賓祝詞/感謝状および表彰状贈呈
 - ② 記念講演 13.00~14.00 学会と私 土木学会副会長・東京大学教授 最上 武雄
 - 14.00~15.00 地域開発と計画の科学 前経済企画庁総合開発局長 加納 治郎
 - 15.10~16.00 映画——東北における建設工事——
 - 16.00~17.00 (仮題) 建設と人間 吉村 昭(作家)

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電話 東京 351-4133)

(1) 構造物の基礎に関する講習会

◀ 10月12日(木)～13日(金) ▶

構造物の基礎に関する技術は、基礎が不明確な地盤に接しているために、きわめて複雑で、まだ多くの未解決点を残しています。

すべての上部構造は、この基礎の上に建設されるわけですから、上部構造の設計者といえども、基礎に対する理解なしに、設計することはできません。

この講習会では、最近の基礎に関する調査、設計および施工上の諸問題について、直接実務を担当している各講師が、重点的に解説いたしますので、基礎の技術者はもちろん上部構造の技術者の方々も、ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年10月12日(木)、13日(金)の2日間
2. 場 所：ヤマハホール(東京都中央区銀座7-1・電話 東京 572-3111)
3. 定 員：500名
4. 参加費：2000円(テキスト代を含む)
5. プログラム：

第1日(10月12日)

- | | | | |
|-------------|--------------------------|--------------|-----------|
| 9.20～9.30 | あいさつ | | 土木学会関東支部長 |
| 9.30～10.20 | (1) 鉄道橋基礎の設計 | 国鉄構造物設計事務所 | 田村浩一 |
| 10.30～11.20 | (2) 道路橋基礎設計の考え方 | 東京都建設局 | 鈴木俊男 |
| 11.30～12.20 | (3) 基礎の地盤調査 | 東海大学工学部 | 宇都一馬 |
| 13.20～14.10 | (4) 鋼杭基礎の設計施工上の問題点 | 日本鋼管(株)加工製品部 | 吉村元宏 |
| 14.20～15.10 | (5) 既成コンクリートぐいの設計施工上の問題点 | 首都高速道路公園工務部 | 岡田哲夫 |
| 15.20～16.10 | (6) 場所打ぐいの設計施工上の問題点 | 国鉄建設局 | 片瀬貴文 |

第2日(10月13日)

- | | | | |
|-------------|----------------------|-------------|------|
| 9.30～10.20 | (7) 直接基礎の安定 | 建設省土木研究所 | 駒田敬一 |
| 10.30～11.20 | (8) ケーソン基礎の問題点 | 東京都建設局 | 青木重雄 |
| 11.30～12.20 | (9) 仮設備の設計施工上の問題点 | 首都高速道路公園工務部 | 玉野治光 |
| 13.20～14.10 | (10) 河川工作物(橋梁)の設置基準 | 建設省河川局 | 縄田照美 |
| 14.20～15.10 | (11) 新幹線軟弱地盤上の構造物の基礎 | 国鉄構造物設計事務所 | 池田俊雄 |
| 15.20～16.10 | (12) 長大吊橋の基礎 | 建設省土木研究所 | 吉田 巖 |

6. 申込方法：後記行事参加申込方法参照。
7. 見学会：この講習会につづく見学会として(2)の中央高速道路見学会を行ないます。この講習会参加者を優先受付いたします。

(2) 中央高速道路見学会

◀ 10月14日(土) 9.00～17.30 ▶

構造物の基礎に関する講習会につづく中央高速道路の見学会を行ないます。(1)の講習会参加者は優先受付いたします。

1. 定 員：100名
2. 参加費：400円(昼食代を含む)
3. 集 合：10月14日(土) 9.00 土木学会
4. 見学場所：調布インターチェンジ・府中インターチェンジ・八王子インターチェンジ・小仏トンネル・底沢橋・相模湖インターチェンジ・吉野橋・境川橋・鶴川橋
5. 解 散：10月14日(土) 17.30 国鉄中央線八王子駅前
6. 申込方法：後記行事参加申込方法参照。

(3) 新しい測定技術—写真測量を中心として—講習会

◀ 10月17日(火)～18日(水) ▶

写真測量を中心とした新しい測定技術の講習会を、写真測量学会と共催で開催いたします。最近の写真測量技術の発達は素晴らしいもので、プログラムでおわかりのように非常に広範囲の応用面があります。興味のある方はどなたでも、ぜひふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年10月17日(火)、18日(水)の2日間
2. 場 所：日本化学会講堂(千代田区神田駿河台1-5、国電または地下鉄お茶の水駅下車、明治大学大学院西となり)
3. 定 員：150名
4. 参加費：1500円(テキスト代を含む)
5. プログラム：

<p>第1日(10月17日)</p> <p>9.30~9.40 あいさつ</p> <p>9.45~11.45 (1) 写真測量の概要</p> <p>12.45~14.15 (2) 写真測量による精密測定</p> <p>14.25~15.55 (3) 写真測量の仕様と検査</p> <p>16.00~17.00 (4) 新しい測量機械-1. レーザーの利用</p> <p>第2日(10月18日)</p> <p>9.30~10.30 (5) 新しい測量機械-2. 光波の利用</p> <p>10.40~11.40 (6) 新しい測量機械-3. 電波の利用</p> <p>13.00~14.30 (7) 写真測量の土木設計への応用</p> <p>14.40~16.10 (8) 写真の判読とその応用</p>	<p>土木学会関東支部長 東京大学 丸安隆和 東京大学 大島太市 国土地理院 尾崎幸男 東京大学 藤井陽一</p> <p>宇宙開発推進本部 菅野和平 安立電波 柴田幸二郎 東京大学 中村英夫 都立大学 中野尊正</p>
--	--
6. 申込方法：後記行事参加申込方法参照。

(4) 京浜地区工事見学会

◀ 10月24日(火) ▶

現在京浜地区で施工中の土木工事のうち、主として都市交通に関係の深い現場を組み合わせ、見学会を開催いたします。ふるってご参加下さい。

1. 定 員：100名
2. 参加費：200円(昼食代を含む)
3. 集 合：10月24日(火)9.00 国鉄山手線五反田駅東口(日本食堂前)
4. 見 学 先：①都営地下鉄目黒川凍結工事、②東急電鉄東横線高架化工事、③都営地下鉄馬込工区(地下鉄・共同溝工事)、④首都高速道路羽横線工事
5. 解 散：10月24日(火)16.30 横浜駅付近、17.20 渋谷駅付近
6. 申込方法：後記行事参加申込方法参照。

(5) 近代的な管理手法の活用—建設工事の合理化について—講習会

◀ 11月7日(火)~8日(水) ▶

近年ネットワーク手法が官民を問わず各分野において、研究され、その活用によって、現場における計画管理が飛躍的に合理化しつつあります。関東支部は、昨年この問題を取りあげて講習会を開催して好評を博しましたが、今年もネットワーク手法の基本理論とその応用を強化する考え方を中心とした講習会を開催いたします。ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967年11月7日(火)、8日(水)の2日間
2. 場 所：大和証券ホール(中央区八重洲1-2-4 電話231-0423)
3. 定 員：400名
4. 参加費：1500円(テキスト代を含む)
5. プログラム：

<p>第1日(11月7日)</p> <p>9.50~10.00 あいさつ</p> <p>10.00~12.00 (1) ネットワーク手法の基本理論と実施上の問題点</p> <p>13.00~15.00 (2) 原価管理(PERT/COST)</p> <p>15.10~16.30 (3) 人員・機械計画</p> <p>第2日(11月8日)</p> <p>9.30~10.30 (4) ケーススタディ</p> <p>10.40~11.40 (5) 今後の展望</p>	<p>土木学会関東支部長 大成建設 加藤昭吉 藤田組 野木貞夫 鹿島建設 平田義則</p> <p>佐藤工業 宮田弘之介 三菱重工業 鴨打幹人</p>
--	--
6. 申込方法：後記行事参加申込方法参照。

(6) 東名高速道路見学会—秋のエキスカ—

◀ 11月21日(火)~22日(水) ▶

本部と共催、本学会告をご覧ください。(本誌3ページ)

(行事参加申し込み方法)

1. 適宜の用紙に、行事の名称、参加者の氏名と勤務先、参加券・領収書の送り先を明記して下さい。
2. 参加費を1.と一緒に送して下さい。(現金書留が便利です)
3. 送り先: 東京都新宿区四谷1丁目土木学会関東支部
4. 各行事とも満員になり次第締切りますから、早くお申し込み下さい。

関東支部発刊図書

「舗装」B5版活版 95ページ 41.11.10発行 定価700円(〒50円)残部僅少あります。

中部支部行事案内 (名古屋市東区東新町10-1 中部電力(株)水力部土木課内)
電話 名古屋 (052) 951-8211 内線 3421・3430

(1) 講演会

◀ 10月13日(金) ▶

1. 場 所: 岐阜市町村会館 旧岐阜県庁前
2. 定 員: 100名
3. プログラム:

13.00~13.05	開会あいさつ	支 部 長 渡 部 時 也
13.05~13.50	雑 感	副 会 長 松 見 三 郎
13.50~14.35	岐阜県の土木建設	岐阜県土木部長 本 間 章
14.35~15.20	土木技術者の教育	岐阜大学工学部長 四野宮 哲 郎
15.30~16.10	映 画「飛 驒」	
16.10~16.55	♪ 生きている海岸線	
16.55~17.00	閉会あいさつ	幹 事 長 奥 村 徳 太 郎
4. 会 費: 無 料
5. 申 込 み: 10月6日(金)までに中部支部またはもよりの幹事まで氏名および勤務先をご連絡ください。申し込み多数の場合はお断りすることもありますので、ご了承ください。

(2) 講習会「軟弱地盤における工事実施例」

◀ 10月17日(火) ▶

主 催: 土質工学会・共 催: 土木学会中部支部

1. 場 所: 愛知県産業貿易館 4階第1会議室 名古屋市中区丸の内 3-1-6 (電話 名古屋 231-6351)

2. 定 員: 200名

3. プログラム:

9.30~9.40	開会あいさつ	土質工学会中部支部長 市 原 松 平
9.40~10.30	フ イ ル ダ ム	愛知用水公団 宇 梶 文 雄
10.40~11.30	干 拓	農 林 省 藤 田 則 之
11.40~12.30	港 湾	運 輸 省 富 田 勇
13.30~14.20	鉄 道	国 鉄 池 田 俊 雄
14.30~15.20	道 路	道 路 公 団 稲 田 倍 穂
15.30~16.20	建 築	竹中工務店 遠 藤 正 明
16.20~16.30	閉会あいさつ	質工学会幹事長 植 下 協

講師および順序に変更があるかも知れません。

4. 会 費: 会員 300円 一般 400円 (ただし学生会員 200円 非学生会員 300円)

5. 申 込 み: 氏名、連絡先、勤務先を明記のうえ 10月7日(土)までに下記へお申し込みください。
名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学工学部土木工学科 土質研究室内 土質工学会中部支部

(3) 研究発表会

◀ 11月11日(土)~12日(日) ▶

1. 場 所: 信州大学工学部 教室および講堂 長野市若里 500 電話 長野 (02622) 6-4101
2. 原 稿 締 切: 10月10日
3. 発 表 者 お よ び 題 目: 10月号でお知らせします。

4. 問い合わせ：土木学会 中部支部

テキスト頒布

水理学水文学における最近の進歩 頒価 1000円 送料 100円
 土木構造物の振動と安全性 " 1000円 " 80円
 上記のテキストご希望の方は土木学会中部支部へご連絡下さい。

(4) 地盤調査の実務に関する講習会

◀ 10月7日(土) ▶

共 催：土質工学会中部支部・中部地質調査業協会
 協 賛：土木学会中部支部・農業土木学会京都支部・日本建築学会東海支部

1. 日 時：1967年10月7日(土) 9.00～17.00
 2. 場 所：愛知県産業貿易館 4階 第1会議室 名古屋市中区丸の内3丁目1の6 電話 名古屋 231-6351
 3. 内 容：

開会あいさつ	土質工学会中部支部長	市原松平
調査計画	農林省東海農政局	清水欣一
予備、現地調査、物理地下探査	(株)応用地質調査事務所	近藤達敏
ボーリングの実務	川崎ボーリング(株)	三木幸蔵
サンプリングの実務	(株)応用地質調査事務所	藤下利男
各種原位置試験	名古屋工業大学土木工学科	越賀正隆
試料土の観察と分類、調査結果のまとめ方と報告	東京大学生産技術研究所	三木五三郎
総括質問	(司会)土質工学会中部支部幹事長	植下協
閉会のあいさつ	中部地質調査業協会理事長	坂本欣丸

テキスト：三木五三郎編「地盤調査の実務」オーム社(400円)を使用当日会場にて販売(200冊準備)

4. 会 費：無 料
 5. 定 員：200名
 6. 申し込み先：中部地質調査業協会：名古屋市中区西新町2丁目2番地(西新ビル228号室)電話 251-8938
 ※ 会場講師等に変更のある場合があります。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
 電話 大阪(06)981-2510番, 振替口座 大阪 825999番)

(1) 第3回見学会 (美浜原子力発電所, 敦賀原子力発電所見学会)

◀ 10月27日(金) ▶

1. 期 日：1967年10月27日(金)
 2. 見 学 先：関西電力(株)美浜原子力発電所, 原子力発電(株)敦賀原子力発電所
 3. 集 合：10月27日11時20分 国鉄敦賀駅前集合
 4. 行 程：11.30 敦賀駅前発(観光バス利用)→昼食(車中)→12.00 敦賀発電所見学 13.45 発→15.15 美浜発電所見学
 17.00 発→17.40 敦賀駅着解散
 5. 参 加 費：100円
 6. 定 員：100名(先着順)
 7. 申込み期限：1967年10月12日(木)
 8. 申込み方法：参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)し, 参加費100円を添えて10月12日(木)
 までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。
 9. そ の 他：1. 集合まで, および解散後の交通費等は各自負担となります。
 2. 参考列車ダイヤ
 (往) 国鉄大阪駅 9.00 発(急行第1立山)→京都 9.36→米原 10.32→敦賀 11.09 着
 国鉄金沢駅 8.55 発(急行あさしお)→福井 10.08→敦賀 11.04 着
 (復) 国鉄敦賀駅 18.03 発(急行第2立山)→米原 18.43→京都 19.49→大阪 20.24 着
 国鉄敦賀駅 17.53 発(急行加賀)→福井 18.42→金沢 19.56 着

(2) 第1回学生見学会 (高山ダム工事見学会)

1. 見 学 先 : 水資源開発公団高山ダム工事
2. 参加者資格 : 土木学会学生会員 : ただし申し込み期限までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正会員も有効
3. 参 加 費 : 100 円
4. 定 員 : 各班 100 名
5. 申 込 み 要 領 : 参加希望者は学校名、氏名および参加班名 (1 班または 2 班) 集合場所 (A または B) を明記し、参加費 100 円を添えて各学校の学生班長を経由のうえ申し込み期限までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。申し込み期限内に定員を超過した時は学校別に人員の割り当てをいたしますからお含みおき下さい。学生班長は申し込み先順位番号を付して一括申し込んで下さい。

- | | | |
|-------|---|--|
| (1 班) | } | 期 日 : 1967 年 10 月 12 日 (土) |
| | | 集 合 : (A 組) 10 月 21 日 12 時 20 分までに京都大学土木教室
(B 組) " 立命館大学土木教室 |
| | | 行 程 : 12 時 20 分京大・立命大発—14.30 高山ダム見学 16.30 発—18.30 京都駅着解散 |
| | | 申 込 み 期 限 : 1967 年 10 月 6 日 (金) |
| (2 班) | } | 期 日 : 1967 年 10 月 28 日 (土) |
| | | 集 合 : (A 組) 10 月 28 日 12 時 20 分までに大阪大学土木教室
(B 組) " 大阪工業大学土木教室 |
| | | 行 程 : 12 時 20 分阪大・工大発—15.00 高山ダム見学 16.30 発—19.00 京橋駅着解散 |
| | | 申 込 み 期 限 : 1967 年 10 月 13 日 (金) |

(関西支部よりお願い)

昭和 43 年は関西支部創立 40 周年にあたりますので、過去 40 年間における各種工事、設計等の記録、写真の蒐集、編集の計画をいたしております。

つきましては参考になる記録、写真等のご提供をお願いいたしたく、またお持ちの向きをご存知の節はご一報を賜わりたくご協力をお願い申し上げます。

中国四国支部行事案内 (広島市八丁堀 6—30 建設省中国地方建設局企画室内)
電話 広島 21—9231 内線 501

(1) 映 画 会

10 月の映画会は広島市、松江市で開催いたします。多数ご参加下さい。

1. 場 所 : 広島地区 ; 10 月 6 日 (金) 13.00 広島市上八丁堀 6—30 広島合同庁舎 2 階大会議室
松江地区 ; 10 月 12 日 (木) 13.00 松江市殿町 島根県庁 (予定)
2. 参 加 費 : 無 料
3. 上映映画 : ①天草架橋 (道路公団九州支社) 80 分 ②由比の地すべり (土木学会) 20 分 ③東海道新幹線 (土木学会) 45 分

(2) 昭和 42 年度中国四国支部総会、年次学術講演会および特別講演会

1. 総 会 : 昭和 42 年度支部総会を下記のとおり開催します。本掲載をもって案内いたしますので会員多数ご出席下さい。

記

1. 日 時 : 昭和 42 年 11 月中旬 (日時未定)
2. 場 所 : 岡山市 (会場未定)
3. 備 考 : 学術講演会ならびに特別講演会も開催いたします。

2. 年次学術講演会

1. 日 時 : 1967 年 11 月中旬 (日時未定)
2. 場所 : 岡山市 (会場未定)

3. 講演申込要領 :

- ①講演申込期限 ; 1967 年 9 月 25 日
- ②講演概要原稿締切 ; 1967 年 10 月 20 日
- ③各機関には前もって郵送いたしますが、希望者は直接支部事務局にお申込み下さい。
- ④原則として個人発表とする。

⑥申込先：広島市上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 中国地方建設局企画室内 土木学会中国四国支部事務局
(電話 広島 21-9231 内線 501)

(3) 特別講演会

1. 学術講演会の翌日：
2. 場 所：岡山市（会場未定） 3. 主 催：土木学会中国四国支部・土質工学会中国支部
3. 参 加 料：未定（テキスト代を含む）

(4) 見学会（未定）

混相流シンポジウム

◀ 11 月 18 日 (土) ▶

1. 開 催 日：1967 年 11 月 18 日 (土) 9.15~17.25
2. 共 催：（順不同）日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会・化学工学協会・造船協会・土木学会・日本海洋学会・日本機械学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・農業土木学会
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目，外濠公園入口）
4. 内 容：題目数：10，講演時間：35 分（20 分+討論 15 分）

9.15~ 9.25	開会あいさつ	
9.25~10.00	(1) 気液二相流研究の手法	大阪大学教授 石 谷 清 幹
10.00~10.35	(2) 管内の粉粒体と空気二相流れ	大阪大学教員養成所教授 森 川 敬 信
10.40~11.15	(3) 固液二相流の微細構造	東京工業大学助教授 日 野 幹 雄
11.15~11.50	(4) 水面の流体力学的挙動	東北大学教授 西 山 哲 男
11.50~12.10	水力学・水理学関係の長期研究計画について	大阪大学教授 植 松 時 雄
13.20~13.55	(5) スララーおよびエマルジョンの沸騰について	東京大学教授 橋 本 藤 雄
13.55~14.30	(6) 滴状凝縮熱伝達	京都大学教授 岐 美 格
14.30~15.05	(7) 混相流機械実用範囲拡大上の問題点	日本大学教授 寺 田 進
15.15~15.50	(8) 噴霧流に対する雰囲気の影響	東北大学教授 棚 沢 泰
15.50~16.25	(9) エアロゾル粒子粒度分布における平衡則	京都大学助教授 高 橋 幹 二
16.25~17.00	(10) 深海における気泡噴流について	長崎大学教授 栗 原 道 徳
17.00~17.20	総 括	京都大学教授 石 原 藤次郎
17.20~17.25	閉会あいさつ	

5. 講演前刷集頒布：

代金 1 冊 600 円，送料 100 円：講演前刷集は当日会場にて代金引換にてお渡しいたします。ただし出席できない方には終了後郵送いたしますから送料をそえて 10 月 31 日までに着金するよう土木学会あてご送金下さい。

第 14 回大河内賞募集について

財団法人大河内記念会事務局より第 14 回大河内賞について推薦依頼がありましたのでお知らせ致します。なお詳細は土木学会総務課へお問い合わせ下さい。

大河内賞の種類

- (1) 個人またはグループを対象とする賞：大河内記念賞（生産工学上優れた独創的研究成果をあげ，学術の進歩に多大の貢献をした個人またはグループに対する賞）
賞状と副賞賞牌および賞金 1 件 100 万円
大河内記念技術賞（生産工学の研究を行ない優れた発明または考察により産業上に顕著な業績をあげた研究者あるいは研究グループに対する賞）
賞状と副賞賞牌および賞金 1 件につき 20 万円
- (2) 事業体を対象とする賞：大河内記念生産特賞（生産工学上の優れた独創的研究により，産業上特に顕著な業績をあげた事業体に対する賞）
賞状と副賞賞牌
大河内記念生産賞（生産工学の研究を行ない，優れた発明または考察により生産上顕著な業績をあげた事業体に対する賞）
賞状と副賞賞牌（朝倉文夫氏）

国際会議のお知らせ

(1) 1969 年国際粘土会議

国際粘土会議は粘土研究国際連合 (Association International Pour l'Etude des Argiles AIPEA) が主催する国際会議で、約 3 年ごとに開催されてきましたが、次回 (1969 年) の会議を日本で開催されることに決定いたしました。

組織委員会では、現在 First Circular を国外、国内の関係者に配布して、Preliminary Registration を受け付けております。

ついては参加される方、不参加でも出版物希望の方、また、Second Circular、その他の連絡希望の方、いずれも First Circular の Preliminary Registration Form を提出していただくことになっております。First Circular ご希望の方 (日本粘土学会会員以外) は 25 円切手同封のうえ東京都文京区大塚 3 丁目東京教育大学理学部地質学鉱物学教室内 1969 年国際粘土会議組織委員会宛 お申し込み下さい。

なお Preliminary Registration Form の提出締切は 1967 年 10 月末日 (必着) までであります。

(2) Wates Pollution Control Federation—1967 Annual 40 th Conference

主 催: New York Water Pollution Control Association
 期 日: 1967 年 10 月 8 日~13 日
 場 所: Hotel Americana, New York
 連絡先: Water Pollution Control Federation 3900, Wisconsin Avenue, Washington, D.C. 20016 U.S.A.

(3) The International Conference on Masonry Structural Systems

主 催: The National Science Foundation, the Clay Products Association of the Southwest
 The Structural Clay Products Institute
 期 日: 1967 年 11 月 30 日~12 月 2 日
 場 所: University of Texas, Austin
 主 題: Every aspect of masonry materials, design, construction and function
 連絡先: The International Conference on Masonry Structural Systems
 P.O. Box 1726, Austin, Texas 78767, U.S.A.

(4) Coastal Engineering Conference-London 1968

主 催: The Institution of Civil Engineers and the Coastal Engineering Research Council of the American Society of Civil Engineers
 期 日: 1968 年 9 月 15 日~20 日
 場 所: London, England
 主 題: All aspects of coastal engineering including the forecasting and measurement of ocean waves, reasearch both in the field and in the laboratory, and practice in design and construction
 連絡先: The Institution of Civil Engineers, Great George Street, London S.W.1./England
 The Hydraulics Research Station, Wallingford, Berks/England

(5) RILEM-Symposium Dresden 1968

主 催: International Union of Testing and Research Laboratories for Materials and Structures
 期 日: 1968 年 9 月 23 日~ 27 日
 場 所: Dresden gdr Technical University, Germany
 主 題: Bitumen in Civil Engineering-Development of Constructional Materials and their Tseting
 連絡先: Rilem Symposium Dresden 1968 Herrn Prof. Dr. A. Hütter, Technische Universiat Dresden
 Lehrstuhl für Baustoffe und Festigkeitslehre 8027 Dresden, Mommsenstrasse 13, Germany